



## 本年度の「光明学園」の経営計画について

学校経営計画とは、校長と教職員が一丸となって、本校の教育の何をどのように充実させていくのかを具体的に示したマニフェスト＝約束です。以下にその概略をまとめました。（確定版を本校ホームページに掲載しました。）開校したばかりの本校にとって、昨年度を含めたこの3年間は学園構築期です。

### “ KOMEI-GAKUEN Bright hopes 30 ”

#### 平成30年度光明学園 学校経営計画の概略

※以下の特別重点目標4点は開校から3年間だけ設ける学校基盤整備のための目標です。

#### 特別重点目標1 魅力ある学園教育を創出していきます！

- ① 併置化の良さを生み出す教育活動の推進  
⇒交流機会、学習機会の充実、多様な専門性の相互活用、全校美術表彰・全校書道表彰の導入
- ② 学園の一体感醸成（開校1周年記念特別教育プログラム、両部門が活用する読書環境の充実と活用）
- ③ 校舎建築中の対応や新校舎への円滑な移行を担当する校内組織の整備（新校舎移行担当主幹の指名）
- ④ 新学園の機能啓発（HP・リーフレット・掲示板他の広報活動による情報発信、全国公開研究会等）
- ⑤ 学園信頼の基盤となる教職員の接遇マナーの向上（服装・案内・電話・応答・相談に関する研修）

#### 特別重点目標2 効率・機能的な学校組織を確立します！

- ① 教員がより指導に専念できる業務システムの効率化・合理化（手引き・様式・事務処理の共通化）
- ② 主幹級教員の職責を踏まえた権限発揮と効率的・機能的な組織運営（主幹教諭増員による負担軽減）
- ③ 主幹級教員の統括分掌と担当プロジェクトを明確にした業務分担（原則：1学部1分掌）
- ④ 主任教諭の職責を踏まえた主任担当業務の明確化（分掌組織の改善、主幹・主任連絡会の開催）
- ⑤ 個人端末を活用した効率的な業務遂行と情報共有（施設予約・電子起案等電子化の推進）
- ⑥ 本校舎（指導・保健・行政）・寄宿舎（指導・

看護）及び分教室拠点が連携した組織運営の推進

- ⑦ 教材作成アドバイザー・学習指導アドバイザーを活用した授業準備の効率化

#### 特別重点目標3 専門性ある人材を活用していきます！

- ① S部門：専門家を学習指導アドバイザーとして人材活用した授業者支援（毎週）
- ② 両部門：特別講師を招聘した保護者学習会「言語・文字の獲得に繋がる『考える力』を育てる」
- ③ S部門：学校介護職員と教員の協働体制の確立と人材活用（専門研修及び個別支援の実施）
- ④ B部門：〈本校拠点・寄宿舎〉 学園生への心理面の支援に関するスキルアップ（専門研修の実施）
- ⑤ B部門：〈分教室拠点〉 病弱教育支援員と教員の協働体制の確立と人材活用（専門研修の実施）
- ⑥ B部門：〈そよかぜ分教室〉 外部人材を活用した入院学園生の余暇のQOL向上を目指した支援

#### 特別重点目標4 新たに開校する学校を支援します！

- ① 計画推進／都推進事業（医ケア児通学車両、人工呼吸器ケア、他校の医ケア開始支援）への積極的参画
- ② 開校支援／31年度以降に開設する学校への情報提供等による全面支援
- ③ 沿革記録／開校期の経過や成果物の整理・記録・発信、母体校の記録整理
- ④ 併置追究／今後の併置校開校に資する為に「魅力ある併置校を目指した学校づくり」の追究と発信

#### 最重点目標1 授業力を一層向上させます！

- ① 授業者支援会議で得たノウハウの蓄積による改善策の共有と活用（改善成果の明示）
- ② 専門家・指導教諭等を人材活用した指導実技型授業力向上研修の実施（全教員参加研修：年1回）
- ③ 指導に関する説明力の向上（授業参観ガイド作成と事前配布、学園生向け通知表の工夫）
- ④ 「工夫した教材」を活用した指導の充実（教材作成アドバイザーの活用、ポスター発表）

#### 最重点目標2 各部門の専門性を発揮し特色ある教育を推進します！

- ① 両部門：高等部学力調査問題の充実及び過去問題

の開示による中3生徒事前対策への活用

- ② 両部門：将来の進学等に備えて、自ら学ぶ意欲のある学園生への補習機会の実施（検定挑戦等）
- ③ 両部門：将来生活を見通して、希望する学園生への課外活動機会の提供
- ④ 両部門：〈分教室拠点、在宅訪問〉タブレット型端末・遠隔ロボット等ICT機器を活用した教育充実
- ⑤ S部門：企業との共同開発研究による音声メディア貸出システム「聴く読書支援」等の整備と活用
- ⑥ 両部門：都指定「オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校」としての実践と普及・啓発
- ⑦ 両部門：都指定「夢・未来プロジェクト実施校」に基づく体験教室及び交流の実施

### **最重点目標3 児童・生徒が安心して学校生活を送れる生活指導体制を整備推進します！**

- ① 「いじめ・体罰防止、自殺防止教育」推進委員会による校内状況の把握と予防対策の推進
- ② 合同避難訓練や宿泊防災訓練の取組み成果の発信と危機管理マニュアルの改訂
- ③ 地域との災害時相互協力関係の構築（地域防災訓練等への協力）と取組み成果の発信
- ④ 万一の事故を教訓とした再発防止策の徹底（保護者への事故再現と説明、再発防止訓練）
- ⑤ 安全な施設設備の利用方法の開発（事故・怪我の防止）
- ⑥ 通学支援（スクールバス・医ケア児専用車両等の安全運行、寄宿舎生の通学安全）
- ⑦ 本校（指導・保健）と寄宿舎（指導・医療看護）の連携に基づく自立生活を想定した生活指導の展開

### **最重点目標4 安心できる保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制を推進します！**

- ① 2部門1保健拠点型に応じた、保健・緊急対応システムの充実及び本校と寄宿舎の情報共有の充実
- ② 適切なアレルギー対応を行う為の教職員の資質向上及び校内体制の充実
- ③ 都新要綱を踏まえた医療的ケア体制の構築及び指定事業・モデル校事業・他校支援の実施
- ④ 厨房環境に応じた安全で美味しい給食提供と楽しい給食タイムの実現
- ⑤ 摂食機能に応じた形態食の提供及び個に応じた摂食指導の推進

### **最重点目標5 進路指導・地域支援を一層充実させます！**

- ① 就学・転学・入学・教育相談、地域支援、進路指導等の情報共有化と学園方針に基づく支援の実施

- ② B部門に関する見学・教育相談・転学相談に関する都推進室と連携した適切な対応
- ③ 保護者向け学校外活動等の情報発信や地域向け情報発信（HP・掲示板等の活用）
- ④ 進路指導の充実（高校や大学等の進学、企業就労・通所施設等利用への丁寧な対応）
- ⑤ 卒後支援と連携（卒業生の自立支援の為の校内販売機会提供や卒後情報の還流、同窓会支援を含む）
- ⑥ 両部門：専門家を人材活用した保護者支援「言語・文字・数の獲得に向かう力を育てる学習会」
- ⑦ 地域のニーズを踏まえた支援の展開（学校公開や幼児とその保護者を対象とした情報提供等を含む）
- ⑧ 学校PTA及び各種別の広域PTA（全国・ブロック・都組織を含む）活動への支援

### **最重点目標6 ワーク・ライフ・バランスを踏まえた、魅力ある職場環境の創出します！**

- ① 読書活動等に親しむための環境整備（貸出システム導入による活用促進）
- ② 校内の美化（校内案内表示の充実、校内の整頓、全校一斉整理デー）
- ③ 働きやすい執務環境の整備（職員室・経営企画室等の環境改善）
- ④ 職場環境の改善（出張販売店等のリフレッシュ資源の追加導入）
- ⑤ 電子決裁・高機能印刷機・端末活用による業務効率化の推進
- ⑥ 校内連絡体制の整備による迅速化（監督職や専門職への携帯電話配備）

### **研究目標 魅力ある教育活動を開発・発信します！**

- ① S部門：学習指導アドバイザーを活用した、認知を高める基礎学力向上の実践研究と成果発信
- ② 両部門：高校準拠の入学考査問題作成及び過去問題開示による中3生への学習機会提供の継続実践
- ③ S部門：校内医療的ケアシステムを生かした他種別校や近隣区への医ケア導入支援等の成果発信
- ④ S部門：授業者支援会議で得た改善ノウハウを基にした授業改善ハンドブックの作成・発信
- ⑤ 両部門：ICT教育の実践（訪問・病院内教育での展開、企業共同研究、プログラミング学習等）
- ⑥ 両部門：オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校としての展開・発信

※外部専門家評価や保護者・学園生評価で達成状況を検証していきます。御協力ください。

校長 田村康二郎

## 4月20日（金）に離任式が行われました。

3月に光明学園を異動された先生方をお迎えしての離任式が行われました。

式に先立ち、校長先生から全校児童・生徒に向けて、離任式の意義について講話がありました。

その後、児童・生徒・保護者・教職員の拍手の中、異動された先生方が入場されました。

御来校いただいた4人の先生方から、4月以降新たに赴任した学校の様子や日常生活の様子、光明学園での児童・生徒との思い出、保護者への



感謝の言葉などが述べられました。

その後、S部門・B部門高等部のそれぞれの生徒会長から先生方への感謝の言葉が述べられました。両名とも堂々とした立派な挨拶でした。

最後に光明学園式歌「僕らは翼をもっている」を全員で歌い、その後、児童・生徒・保護者・教職員の大きな拍手の中、先生方が退場されました。

先生方、新しい場所でも頑張ってください。

(S部門高等部主幹教諭 長 雅洋)

## S部門 「1ねんせい、しゅっぱーつ！」 小学部

1年生13名を全員集合で迎えることのできた入学式から、3週間。毎日、にぎやかな学校生活が始まりました。

♪ドキドキドン 1年生♪の歌を知っていますか？1年生の4月の歌です。

♪となりにすわる子 いい子かな？

ともだちになれるかな？♪

初めての学校生活に、  
ドキドキ、キョロキョロ  
していた子どもたち。

少しずつ、いつもいる友達を感じ始め、笑顔が増えました。

2年生から「1年生を迎える会」の招待状をもらったり、4年生と、すべり台をしたり、お兄さん、お姉さんの優しさに触れ、安心感と楽しさが増して

きました。今、取り組んでいるのは学校探検！先生や友達と学校をまわり、楽しいところを見つけています。みなさんの教室の前も通るかも？ぜひ、声をかけてくださいね。

♪だれでも最初は1年生、ドキドキするけど、ドンと行け！♪…子どもたちを安心感で包み込みながら、背中を押して、楽しい学校生活を作っていきたいと思います。1ねんせい、しゅっぱーつ！！

(S部門小学部教諭 佐藤有紀)

## B 部門 「新入生歓迎会」

## 中学部・高等部

B 部門の中学部は、2 年生 1 名。高等部は、1 年生 3 名、2 年生 3 名、3 年生 2 名。計 9 名で新年度を迎えました。

新入生 3 名は、緊張した様子ですが、新しい環境の中で、毎日の生活を頑張っています。

4 月 13 日（金）6 時間目には、新入生歓迎会を実施しました。この歓迎会は、高等部 2、3 年生の生徒たちが立案し、当日の進行を行いました。

1 年生の教室に、各自の椅子を持って集まり、教室で、大きな輪になって座りました。

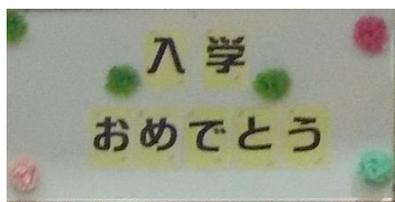
生徒一人一人の自己紹介、B 部門教員の自己紹介、「山手線ゲーム」などを行いました

個性的なワードが次々に出されて、新入生、在校生共に、笑顔がたくさん見られました。

これからの 1 年間、お互いに成長しあっていると良いですね。(B 部門 主幹教諭 岡田典子)

## S 部門 「1 年生を迎える会」

## 高等部



4 月 23 日（月）、S 部門高等部で 1 年生を迎える会を実施しました。

2 年生と 3 年生が

工夫を凝らした出し物を披露した後、1 年生 19 名がそれぞれ高等部での抱負を述べながら自己紹介しました。

2 年生からは、最初に各グループが「いかに楽しくてみんな仲良しか」の PR をしました。3 年生は、生徒全員が仮装をしてバブリー・ダンスを披露し盛り上がりました。1 年生も早く高校生活に慣れてくれればと願っています。

(S 部門 高等部 主幹教諭 長 雅洋)

## S 部門 「1 年生を迎える会」

## 中学部

高等部に続いて中学部でも 1 年生を迎える会を行いました。「S・B 両部門合同」「生徒会の進行」ですっきりおなじみの学部集会の一つです。2・3 年生からは歓迎のメッセージや歌、1 年生からは一人ずつの紹介と好きなことや得意なことの発表がありました。音楽が好きな 1 年生はお気に入りの曲を BGM に登場。「曲つながり」で

先輩達もうれしそうでした。趣味の合う仲間が見つかるといいですね♪ なかには好きなタイプを発表した 1 年生も…。新入生に刺激を受けた先輩もいたようです！ 欠席の 1 年生は写真で紹介しました。みんなで待っています！

(S 部門 中学部 主幹教諭 伊丹真紀)

